

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

エネルギーの黒子であろう。人のための省エネ、人々のための再エネをベースコンセプトに…

連結売上高
19,500百万円

連結営業利益
1,760百万円

連結経常利益
1,600百万円

親会社株主帰属当期純
1,070百万円

② 中長期の経営戦略

1. 省エネルギー支援サービス事業

生産・業務システムとしてのエネルギー効率改善を支援。行政の省エネ基準を満たし助成制度を活用し、顧客の初期投資額抑制を実現。

3. 電力小売事業

グループ発電所で発電した再生可能エネルギー電気を環境価値とともに顧客へ供給。持続可能なエネルギーの利用を促進。

2. グリーンエネルギー事業

山林経営を含め木質バイオマス関連分野への投資を拡大。次世代担い手に林業の魅力を継承し、発電・山林事業の収益性を確保。

4. 木質バイオマス発電所運営

5基の発電所の相互協力体制を強化。スケールメリット活用によるコスト削減とメンテナンス情報共有で運営ノウハウを研鑽。

③ 対処すべき課題

① 燃料調達の安定確保

- 燃料調達に係る経費の削減と必要量の確保が喫緊の課題
- FIT・FIP制度の20年間で安定的な燃料確保を推進
- チップ加工設備を有する発電所での原木受入量増加と未利用木質チップの内製化

② 山林経営の収益化

- 高齢化する山林所有者と林産事業者の後継者不足への対応
- 林業経験とノウハウの次世代継承による事業継続
- 施業地獲得拡大と機械化による生産量向上と経費合理化

③ 人材確保と育成

- 木質バイオマス発電と山林事業を担う専門的人員の確保と教育
- 次世代の担い手である若い人たちへ林業の魅力と意義を継承

面接で使えるポイント

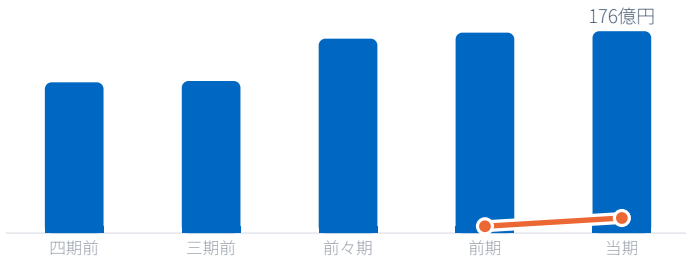
- 国内産木質チップによる二酸化炭素排出量極めて少ないバイオマス発電で再生可能エネルギーを製造。
- 2026年6月期に連結売上高19,500百万円、営業利益1,760百万円を見込み。
- 省エネ支援・バイオマス発電・山林経営・電力小売の4事業で、顧客とともにTCFD提言に則り気候変動課題に取り組む。

株式会社エフオン

電気・ガス業 | スタンダード（内国株式） | 決算期 6月30…

証券コード 9514

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
176億円

営業利益率
7.5%

財務健康度
36点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 45.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
662万円

電気・ガス業内 22位/28社

平均年齢
46.0歳

電気・ガス業内 1位/28社

平均勤続
6.6年

電気・ガス業内 23位/28社

女性管理職
40.0%

電気・ガス業内 1位/23社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株)エフオン【9514】：決算情報

株式会社エフオン 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

